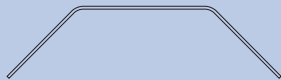


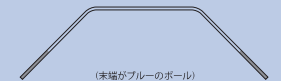
スクートDX6 / 組み立て方法

1 パーツを確認します

メインポール/2本



前室ポール/1本



(末端がブルーのポール)

ブラベグ/6本

ピンベグ/10本

張り綱/6本

ハンマー/1本

内幕・外幕と上記のパーツがセットされているか確認します。

▶ フレームはあらかじめ、肩部にベント(曲げ)加工が施されています。

泥除け用固定ピンは付属しておりません。
別途お買い求めください。

⚠ 設置時のご注意

テントの破損は設置時と撤収時に多く発生します。完全に設置が完了した状態で強度設計されています。風が吹いているときは作業を見合わせて、風が収まってから設置・撤収をするようにしてください。

2 内幕を広げ、ピンで固定します。



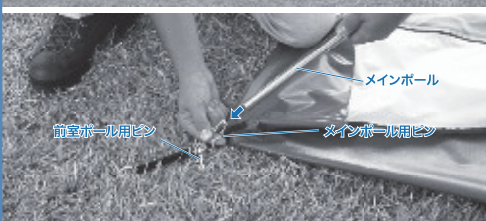
テントサイトを選び整地します。

内幕に空気が入りやすいように入り口ファスナーを1/3程開け、グランドシートがシワにならないように地面に広げます。

次に四隅のピン&リングに付いているループをピンベグで固定します。

▶ 内幕はピン&リング(金属製の部品)が付いている箇所がグランドシート(地面に接する面)の四隅です。

3 フレームを固定します。



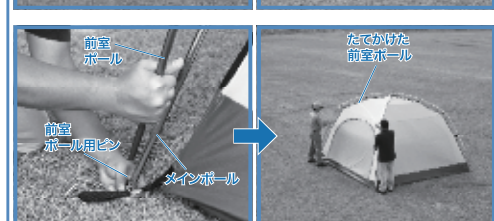
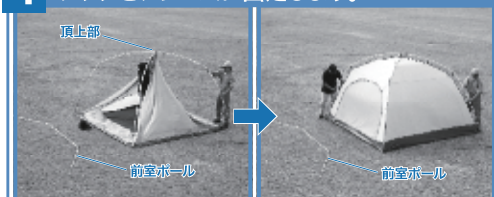
内幕四隅のピン&リングに2本のメインポールが交換するようにそれぞれ固定します。

ポール下端部にピンを差し込んでください。

出入口側(前室側)のピンにメインポール用ピン、前室ポール用ピンがあります。大きい方のピンにはメインポールを差し込んでください。

(小さい方のピンには、前室ポールを 4 の工程で差し込みます。)

4 フックをフレームに固定します。

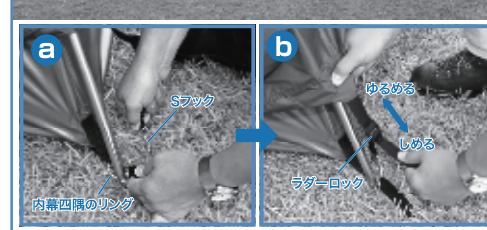


まず、頂上部に付いているプラスチックフックを固定し、(交差している上側のフレームに固定します。)次にその他のフックを順番に固定していきます。

前室ポールを前室ポール用ピン(小さい方のピン)に差し込み、一時的に内幕に立て掛けてください。

▶ フレームの肩部に固定するフックは一番テンション(張る力)がかかります。一方の手でフレームを押さえ込んで、もう一方の手でフックを固定すれば固定しやすくなります。

5 フライシートをかぶせます

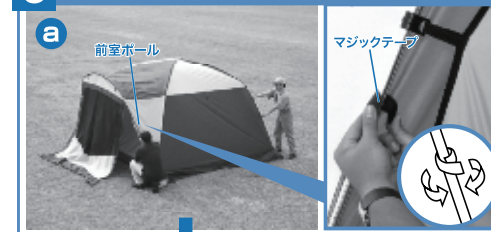


フライシートの前後を確認し、本体にかぶせます。
(前室ポールはまだ一時的に本体に立て掛けたままにしておきます。)

a フライシートの縫い目とフレームが合うように整えた後、内幕四隅のリングに、フライシート裾部についているSフックを引っ掛け、固定してください。

b 裾部のフックはラダーロックにより長さの調節ができます。フライシートに均等にテンションが掛かるように調節してください。

6 フライシートを固定します



a フライシート前後のファスナーを開け、フライシート内側のマジックテープ(メインフレーム肩部分)をフレームに巻き付けてください。次に、本体に立て掛けてあった前室ポールを前方に押し出し、同様にマジックテープで固定してください。

b フライシート側面及び、前室・後室部分をピンベグで固定します。形を整えながらゴムコードのループをピンベグで固定してください。

7 テントを補強します



テントの前後と側面に取り付けられた6カ所のループに張り綱を取り付けます。端をブラベグで固定してから自在で張り具合を調節してください。

⚠ 風に備えて

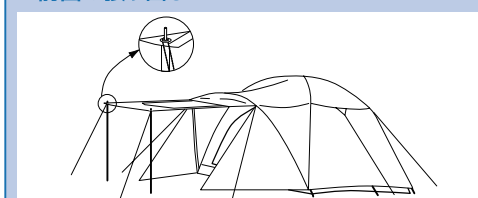
風に備えて、張り綱とマジックテープでしっかりと固定してください。また、張り綱を張っていてもテントが大きく歪んでしまうような強風時には、速やかに撤収してください。

■ 前室機能の説明



- ① 出入口/前室正面はベグで固定したままにしておき、前室側面から出入りすれば、雨の日などに便利です。
- ② 換気/前室正面のベンチレーターは夜間や暖かい日の換気に便利です。
- ③ 正面巻き上げ/前室正面は夏場など、より風を通したい時に巻き上げることが出来ます。

■ 前面の張り出し



フライ正面は別売りの張り出し用ポールを使って張り出すことができます。コーナーのハトメにポールの先端を差し込み、張り綱で張り出します。

⚠ 風の強い時や雨天には張り出さないでください。特に雨が張り出しに溜まるとテントを破損する原因になりますのでご注意ください。